

3年

国語

しゅうしよく
修飾語を使う

3年

組

名前

①言葉のきまりについて、れい文を見て、
当てはまる言葉を□からえらんで
□に記号を書きましょう。

れい文

(どんな) 主語 (どのくらい) 述語
修飾語 赤い 花が 修飾語 たくさん さいた。



文の中で「何が(は)」「(う)に
当たる言葉を(カ)と言い、
「どうした」「どうする」(ア)
「何だ」に当たる言葉を
(エ)と言います。



「どんな」「どのくらい」のよつに
文の意味を(イ)する言葉を
(オ)と言います。

(ア)「どんなだ」 (イ)くわしく
(ウ)「だれが(は)」 (エ)述語
(オ)修飾語 (カ)主語



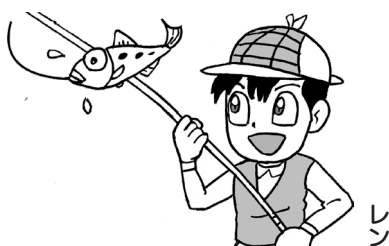
記号はそれぞれ
一度しか
使えないよ。

②①～⑤の……の修飾語はどの言葉に係りますか。
係る言葉の右がわに――を引きましょう。

- ① レンは かりんに 本を かした。
 - ② ミオは きれいな にじを 見た。
 - ③ リクは みごとに シュートを 決めた。
 - ④ きんたは □を 開いて ねていた。
 - ⑤ ゆいは めがねを きれいに ふいた。
- ③①②の――の言葉は修飾語のどれに
当たりますか。□からえらんで
()に書きましょう。



- ① レンは きのう 川で きんたと
(何を) 魚つりを した。
- ② かりんの 弟は 公園の 中を
(だれの) (何の) (どこを)
(どのよつに) ぶらぶらと 歩いた。



だれの・どこで・何の・どのよつに
何を・だれと・どこを・いつ

※言葉は
それぞれ
一度しか
使えません。